

## 公開講演会

### 《講師紹介》

#### 山田 格（やまだ・ただす）

1950 年，岡山市生まれ．1977 年 3 月東京大学理学部生物学科(人類学)卒業．1979 年 3 月，東京大学大学院理学系研究科人類学専門課程修士課程修了，理学修士論文「現代人下顎骨計測値の因子分析」．1979 年 4 月，東北大学医学部助手(解剖学)．1986 年 6 月新潟大学大学院医学研究科医学博士論文「神経支配に基づく浅指屈筋の再検討」．1984 年 11 月，新潟大学医学部助手(解剖学)．1986 年 9 月スウェーデン国立自然史博物館客員研究員(古生物学)．1989 年 12 月新潟大学医学部助教授(解剖学)．1993 年 4 月，国立科学博物館動物研究部主任研究官(動物第一研究室)．1995 年 4 月，国立科学博物館動物研究部室長(動物第一研究室)，現在に至る．本来の研究テーマは海棲哺乳類の比較形態学だが，スタンディングネットワークの構築などにも力を注いでいる．

主要著作：共著『極地の哺乳類・鳥類』(人類文化社，2001)，『日本動物大百科 2 哺乳類』(平凡社，1996)，共訳『スタンディング フィールドガイド 海の哺乳類』(海游舎，1996)，訳書『脊椎動物デザインの進化』(海游舎，2002)，『海の哺乳類 FAO 種同定ガイド』(NTT 出版，1999)．

#### 和田 志郎（わだ・しろう）

1947 年，東京都生まれ．1970 年 3 月，東京水産大学増殖学科卒，1970 年 4 月，農林省入省．1970 年 6 月～1990 年 3 月，遠洋水産研究所で大型鯨類の資源研究，特にアイソザイムを利用したヒゲクジラ類の系群判別研究に従事．1987 年 3 月，「ナガスクジラ属 4 種の集団および種の遺伝的分化に関する研究」で東京大学より農学博士の学位を授与される．1990 年 4 月～1993 年 3 月，南西海区水産研究所高知庁舎で浮魚類の資源研究に従事．1993 年 4 月～2004 年 3 月，中央水産研究所生物機能部にてアイソザイムおよび DNA 多型を利用した重要水産生物の種判別・系群判別研究に従事．種不明鯨類の分類学的帰属を決定するための諸研究は 1976 年から 27 年間にわたり実施．2004 年 4 月に中央水産研究所資源評価部上席研究官に配置換え，現在に至る．

主要著作：共著『鯨類資源の研究と管理』(恒星社厚生閣，1991)，『マサバ・ゴマサバ判別マニュアル』(水産庁，1999)．

#### 南部 久男（なんぶ・ひさお）

1953 年，富山県生まれ．1978 年，富山大学文理学部理学科卒．1978 年 4 月，富山市科学文化センター準備事務局勤務．1979 年 11 月，富山市科学文化センター開館に伴い，脊椎動物担当学芸員となる．開館以来，富山県とその周辺及び富山湾の脊椎動物相「淡水魚・両生爬虫類・哺乳類相，富山湾の魚類・鯨類相等」の調査・研究を行い．さらに両生類の形態や繁殖生態，絶滅動物に関する調査・研究を行っている．1991 年 3 月新潟大学大学院自然科学研究科入学，1995 年 3 月修了し，「カスミサンショウウオ属 3 種の形態と繁殖生態に関する研究」で学術博士の学位を授与される．2004 年 4 月主幹学芸員，現在に至る．

主要著作：共著『動物解剖図』(1990，丸善)，『滅びゆく日本の動物 50』(1993，築地書館)．